

令和6年度 第2学年 授業改善プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題	○中心とする単元 ◆カリキュラムデザイン	授業改善に向けての具体的な手立て	◎ 成果 ● 課題
知識・技能	<p>&lt;算数&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ものさしを使って長さを測定したり指定された長さの直線を引いたりすることを正確にできる児童が少ない。</li> </ul>	<p>&lt;算数&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「長方形と正方形」</li> <li>○「はこの形」</li> </ul>	<p>体験活動の工夫・量感の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>算数の授業以外の学習や日常生活でも定規やものさしを使う場面を意図的に増やし、使うことに慣れさせる。</li> <li>作図の手順を一つずつ確認しながら丁寧に指導し、繰り返し活動に取り組めるように時間を十分にとることで、正確に線を引いたり図をかいたりする技能を身に付けさせる。</li> </ul>	
思考力・判断力・表現力等	<p>&lt;全教科&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達の考えや活動の良さに気付いている児童が多いが、それを自分の学びに生かしたり、なぜそのようにできたのかをすすんで友達に聞いたりする等の、友達と互いに学び合う活動にまで達していない。</li> </ul>	<p>&lt;生活&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「うごくうごくわたしのおもちゃ」</li> </ul> <p>&lt;国語&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「そうだんにのってください」</li> </ul>	<p>交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>友達のおもちゃと自分のおもちゃを比べたり友達にどうしたらよいか聞いたりするよう促し、児童同士の学び合いが生まれるようにする。</li> <li>話題について小グループで話し合い、互いの意見を聞いたりくわしく知りたいことを質問したりして、友達とともによりよい意見を考えさせる。</li> </ul>	
学びに向かう力・人間性等	<p>&lt;図画工作・生活科&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>作品をつくったり生き物を育てたりする中で、一つのものに粘り強く取り組むことができず、関心がすぐに違うものに移ってしまう。</li> </ul>	<p>&lt;生活&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「うごくうごくわたしのおもちゃ」</li> </ul>	<p>材料の準備とめあての設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>おもちゃづくりに活用できる材料を豊富に用意し、繰り返しおもちゃの改良を行うことができるようにする。また、どんな動きをするおもちゃにしたいのかを明確にもって活動に取り組むことができるように、めあてを個々に立てさせ、児童が思いをもって活動に取り組むことができるようにする。</li> </ul>	